

1 現状と課題

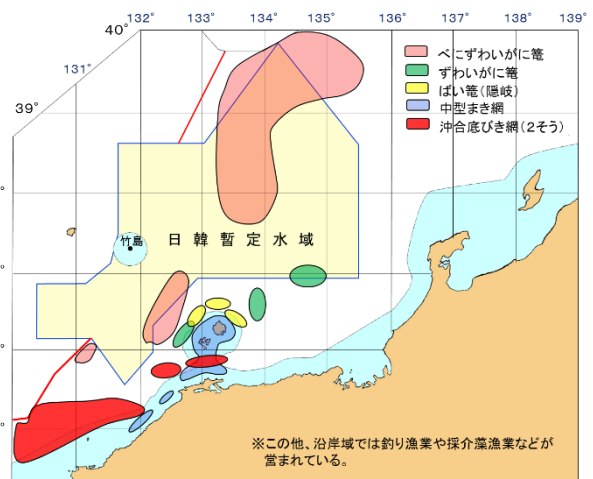
(1) 特徴

- 島根県の沖合には、黒潮から分かれた対馬暖流が流れ、隠岐諸島や九州沖から続く陸棚（200m以浅）などの複雑な海底地形と相俟って、多種多様な魚介類が生息する豊かな漁場が広がっています。
- このため、沖合域ではまき網、底びき網、かご（バイ貝・カニ）、沿岸域では釣り、刺網、採介藻など様々な漁業が営まれています。
- また、ヤマトシジミの産地である宍道湖などの汽水湖や、水質日本一に何度も選ばれた高津川に代表される多様な資源（アユ等）を育む河川が数多く存在しています。
- 島根県は、海面及び内水面において多様な魚種と高い生産力を持つ漁場を有し、全国屈指の水産業の盛んな県となっています。

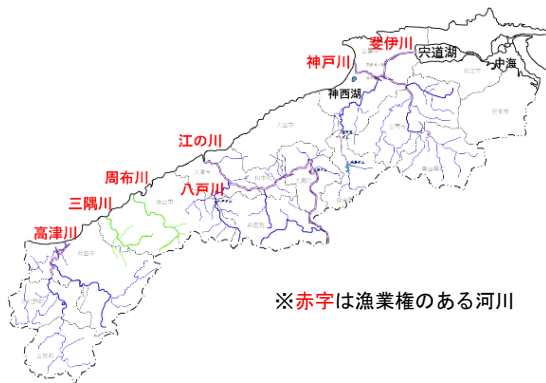
■ 島根県の漁場



■ 島根県の主要漁業の漁場



■ 島根県の主な河川・湖沼



清流 高津川

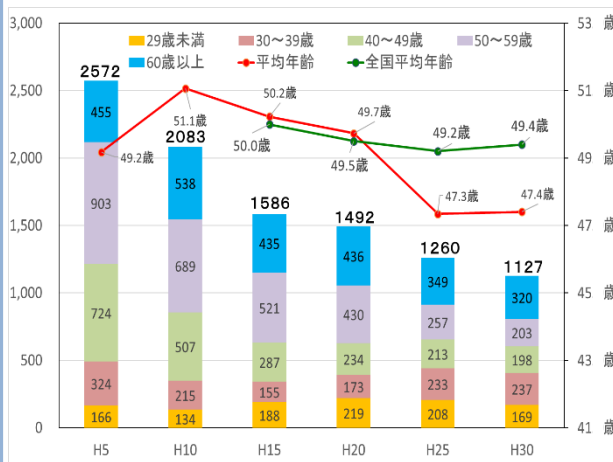
宍道湖でのシジミ漁



(2) 担い手

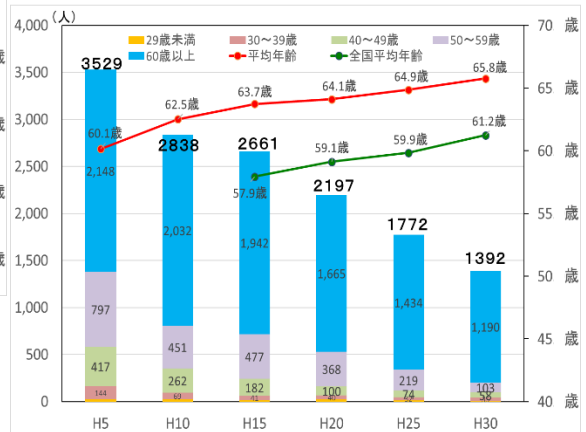
- まき網をはじめとする企業の漁業経営体に雇用されている漁業者は、この20年間で約2,100人から約1,100人に半減していますが、平均年齢は約47歳と比較的若い状況にあります。(全国平均約49歳)
- 主に釣り・採介藻などを個人で営む沿岸自営漁業においても、漁業者数の減少傾向が続き、この20年間で約2,800人から約1,400人に半減しており、平均年齢も約66歳と高齢化が進んでいます。(全国平均約61歳)
- なお、沿岸自営漁業においては、島根県における他産業並の年間所得(約400万円。水揚金額720万円に相当)を確保できている漁業者は60人程度に留まっており、全体の5%に過ぎません。

■漁業就業者数(雇用)と平均年齢の推移



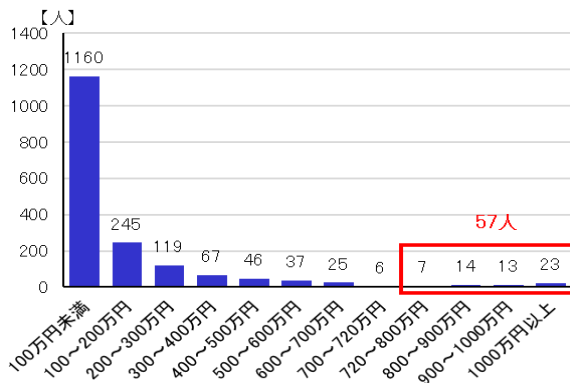
出典：農林水産省「漁業センサス」

■漁業就業者数(自営)と平均年齢の推移



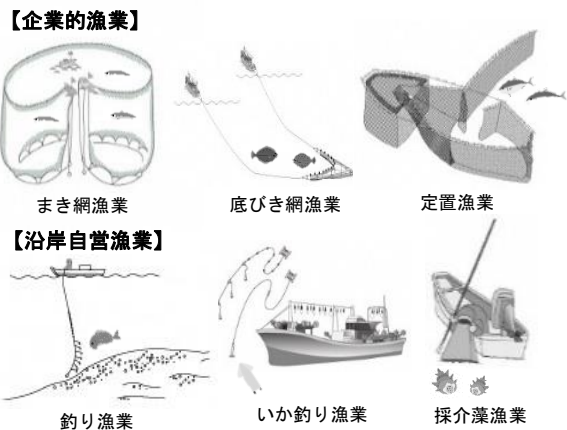
出典：農林水産省「漁業センサス」

■沿岸自営漁業の水揚金額階層別漁業者数(H30)



出典：水産課調べ

■企業の漁業と沿岸自営漁業



(3) 生産

- 平成30年の島根県の海面漁業の漁獲量は約11万3千トンで全国8位、河川や湖沼で営まれる内水面漁業の漁獲量は約4,300トンで全国2位となっています。
- 企業的漁業では産出額の減少が続いていましたが、平成13年以降は170億円前後で安定して推移しています。平成30年の統計では、このうち、まき網漁業が83億円を占め、次いで底びき網漁業、定置漁業の順になっています。
- 沿岸自営漁業は産出額の減少に歯止めがかからず、平成30年の産出額は約27億円となっています。このうち、釣り漁業が約30%を占め、次いでいか釣り漁業、採介藻漁業の順になっています。

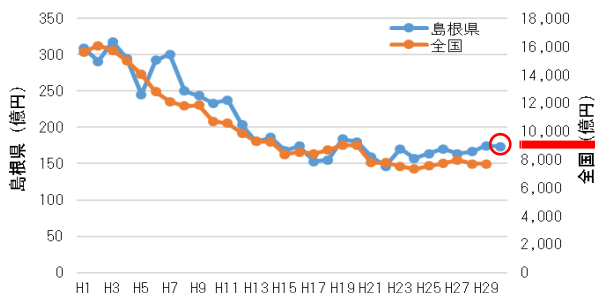
■全国における島根県漁業の位置づけ (H30)

単位：トン

魚種	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
海面漁業	北海道	長崎	茨城	静岡	宮城	千葉	三重	島根	宮崎	青森
	876,625	290,591	259,031	195,419	184,738	132,726	131,881	113,094	103,281	90,344
マアジ	長崎	島根	鳥取	愛媛	高知	鹿児島	宮崎	山口	福岡	大分
	43,862	28,509	5,407	4,611	3,596	3,483	3,466	3,173	2,703	2,669
サバ類	茨城	長崎	静岡	三重	宮崎	島根	千葉	愛媛	青森	鳥取
	104,273	100,171	43,245	36,385	35,481	34,259	28,995	21,189	18,837	18,770
ブリ類	長崎	島根	千葉	北海道	鳥取	岩手	石川	三重	高知	宮城
	14,113	9,578	8,948	8,264	8,159	7,546	6,440	4,646	4,622	3,257
ヒラメ・カレイ類	北海道	宮城	島根	兵庫	鳥取	青森	石川	福井	福島	新潟
	21,932	4,198	2,983	2,593	1,895	1,879	1,301	1,071	1,058	887
アナゴ類	島根	宮城	長崎	愛知	福岡	福島	山口	愛媛	茨城	兵庫
	618	556	412	254	196	177	167	157	149	147
サザエ	長崎	山口	三重	島根	新潟	愛媛	千葉	石川	静岡	神奈川
	1,011	605	464	414	398	306	301	263	253	238
ベニズワイガニ	鳥取	北海道	新潟	島根	兵庫	石川	秋田	山形	富山	青森
	2,738	2,188	2,088	2,039	1,965	997	866	461	447	227
内水面漁業	北海道	島根	青森	茨城	岩手	新潟	神奈川	宮城	岡山	東京
	10,101	4,250	4,147	2,520	945	402	395	354	308	304
シジミ	島根	青森	茨城	北海道	東京	三重	鳥取	愛知	福岡	徳島
	4,177	2,760	1,173	778	261	172	120	63	32	17

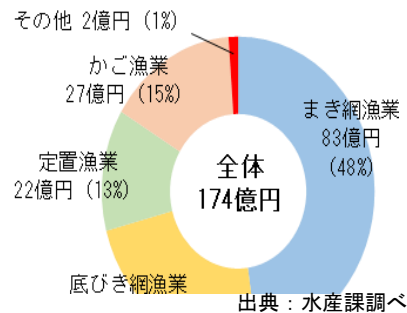
出典：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

■企業的漁業の産出額の推移



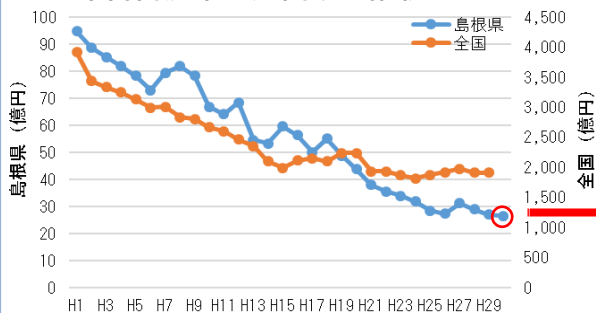
出典：水産課調べ、農林水産省「漁業・養殖業生産統計」を基に水産課作成

■企業的漁業の漁業種類別産出額 (H30)



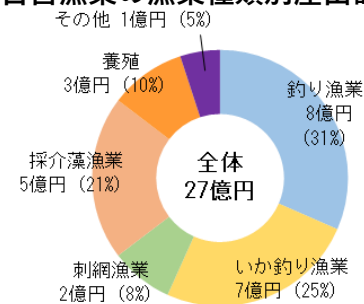
出典：水産課調べ

■沿岸自営漁業の産出額の推移



出典：水産課調べ、農林水産省「漁業・養殖業生産統計」を基に水産課作成

■沿岸自営漁業の漁業種類別産出額 (H30)

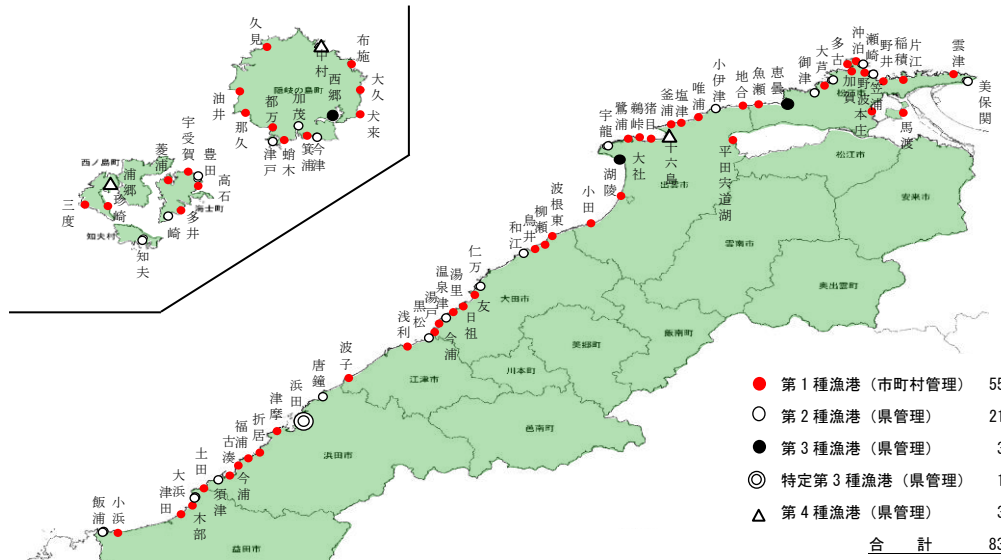


出典：水産課調べ

(4) 水産基盤

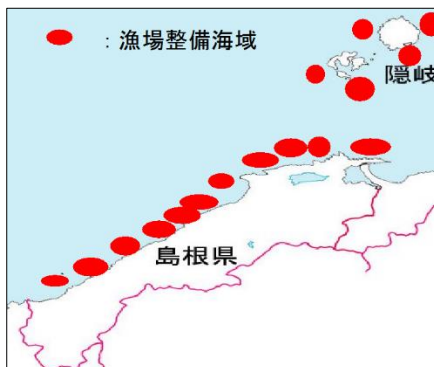
(漁港整備)

- 島根県には 83 の漁港があり、県内の約 5,600 隻の漁船の基地として、暴風や高波から人命や漁船を守る漁業活動の拠点となっています。
- 漁港は、その規模や利用上の特性から以下のように分類されています。
 - ① 第 1 種漁港：主に地元の漁業で利用されている漁港 (55 漁港)
 - ② 第 2 種漁港：その利用範囲が第 1 種漁港よりも広い漁港 (21 漁港)
 - ③ 第 3 種漁港：利用範囲が全国的な漁港 (西郷、恵曇、大社)
 - ④ 特定第 3 種漁港：第 3 種漁港のうち水産業の振興上特に重要な漁港 (浜田)
 - ⑤ 第 4 種漁港：離島等において漁場の開発又は漁船の避難上特に必要な漁港 (中村、浦郷、十六島)
- 沿岸自営漁業者数が減少する中、特に小規模な漁港においては、機能統合や再編が必要な状況となっています。



(漁場整備)

- 島根県では、水産資源の保護・育成や、漁獲量の増大と操業の効率化を図るため、主に沿岸海域において魚礁や増殖礁などの漁場整備を行っています。



一本釣り用魚礁(鋼製)



魚礁に蜻集する魚群(メダイ)

(5) 各地域の特徴

【出雲地域】

- 島根半島のリアス式海岸を利用して多数の定置漁業が営まれており、紫外線殺菌冷海水装置を活用して鮮度管理を徹底した漁獲物は「しまね定置もん」としてブランド化されています。
- また、静穏な入り江を利用したわかめ養殖が冬期に営まれ、時化が多い冬場の沿岸自営漁業者にとって重要な収入源となっています。



定置網の水揚げの様子
出雲地域：15.1 億円

わかめ養殖の水揚げの様子
出雲地域：59 経営体(20 地区)



【石見地域】

- 県内一の水産基地である浜田漁港で水揚げされるアジ、カレイ、ノドグロ(アカムツ)は、平成 16 年から「どんちっち三魚」としてブランド化されています。特に「どんちっちアジ」(脂質 10%以上)は全国でも有数のブランド魚となっています。
- また、浜田漁港や和江漁港といった拠点漁港で水揚げされる多種多様な魚を原料とした水産加工業も盛んで、浜田のカレイの干物は生産量が全国一位を誇っています。



どんちっちブランドロゴ
どんちっちアジ平均単価
329 円/kg(通常の 2~3 倍)

全国一のカレイの干物
生産量 2,062 トン



【隠岐地域】

- かご漁業が盛んで、高級品として知られている松葉ガニ(ズワイガニ)や石川県の金沢に高級食材として出荷されているエッチュウバイなどが漁獲され、高単価な特産品となっています。
- また、平成 4 年に西ノ島町において全国で初めて成功したいわがき養殖は、生産が隠岐全島に広がり「隠岐のいわがき」としてブランド化されています。



写真(エッチュウバイ)
ばいかご漁業の生産額
3.9 億円

いわがき養殖の様子
いわがき養殖生産額
1.6 億円



※生産量、生産額、単価は平成 30 年